

I 施策の展開

5つの方針に基づき、以下の施策を設定します。

施策の展開にあたっては、本市単独では実現が難しく、事業者はもとより、国や静岡県等の行政機関、静岡大学等の高等教育機関、商工会議所・商工会や金融機関等の産業支援機関、他地域のCNF推進組織等との連携が必要となります。

このため、推進構想で位置付ける施策には、主な連携先を示し、効果的な連携のもと諸施策を展開します。

方針 I CNFの理解促進 ～CNFを知る～

「なぜCNFを推進するのか?」、「必要なCNFに関する情報は何か?」に応え、CNFに取り組む意義、理解を深めるための**知る**取組を進めます。

◆ I-1 CNFの最新動向の把握【国、県・大学等・事業者・他地域】

最新情報の把握・整理

- ナノセルロースフォーラムや各地域で開催されるセミナー、講演会等での情報収集
- 先進事例、先進地域等の状況把握

◆ I-2 取組ステージに応じたCNF知識の普及啓発【県・大学等・事業者・産業支援機関】

企業ニーズに応じたセミナーの開催や情報発信

- CNFの認知度、取組ステージに応じたきめ細かい普及啓発活動
- CNFサンプル情報の整理や発信

CNFを取り巻く環境に対応した情報の提供

- バイオマスの利活用による環境に対する意識の醸成・普及啓発活動
- CNF関連技術に関する情報提供
- 実用化、商品化等CNF関連製品に関する情報提供

◆ I-3 様々な媒体を通じた情報発信の強化【国、県・大学等・事業者・他地域】

様々な媒体による情報発信の展開

- 啓発パンフレット・冊子の作成と配布
- CNF出前講座の実施

最新の情報を発信するウェブサイトの開設・運用

- CNFナビゲーターサイトの構築、情報発信

方針 2 CNFの活用促進 ～CNFに触れる・作る～

本市に立地し、CNFの専門部署を有する静岡県富士工業技術支援センター等と連携し、CNFのサンプル選定、実験や試作を行う環境づくり、活用を後押しする支援等を進め、CNFに**触れる・作る**機会を創出します。

◆ 2-1 CNFデータの活用・共有【県・大学等・事業者】

CNFサンプル等の基本データの収集

- CNFの特性等データの収集・分析
- 特許データ、技術データ等の収集

CNFサンプル等の基本データの提供

- セミナーや講演会、相談、ウェブサイト等を通じたデータの共有と公開

◆ 2-2 大学・研究機関への紹介・斡旋【県・大学等・事業者】

CNF活用に向けたサポート体制の構築

- 技術相談等の窓口の紹介
- CNF関連設備の情報提供

CNFに触れる機会を創出

- CNFに関する実習講座の開催
- 実験や試作等を行う機会の提供

◆ 2-3 活用を後押しする補助制度の創設・運用・紹介【国、県・事業者】

CNF活用補助金の創設・整備

- 企業ニーズや取組フェーズ等に応じた補助メニューの検討・整備

様々な補助制度の紹介

- 国・県等の技術開発に関する補助制度の情報収集と提供

方針3 CNF・地域産業の拠点とネットワーク形成 ～CNFでつながる～

静岡県や静岡大学等とCNF関連産業の創出及び地域産業の振興に寄与する産学金官の連携拠点の整備を進めるとともに、企業等のマッチングの創出、実用化・事業化に向けた他地域との連携を進めることで、CNFでつながる場を創出します。

◆3-1 人材育成と研究機能の強化に向けた拠点整備【県・大学等・事業者・産業支援機関】

オープンイノベーションの場の創出

- 産学金官の連携拠点の整備
- CNF関連産業及び地域産業に寄与する共同研究、人材育成

共創の場の構築

- 企業等の連携の場となるオープンプラットフォームを構築
- 分野や技術等の関連産業分野別のCNFの活用推進と連携
- CNFに取り組む中核企業やユーザー企業等によるネットワーク構築支援

◆3-2 企業等のマッチング機会の創出【県・事業者・産業支援機関】

シーズとニーズをつなぐ機会を創出

- シーズプッシュ型のマッチング会の開催
- CNFがソリューションとなる事例の創出

静岡県CNFコーディネータ等との連携

- 情報提供と情報共有の場の設置
- 企業へのCNFコーディネータの紹介
- 企業OB、OG人材の活用

◆3-3 全国の地域CNF推進組織等との連携強化【県・大学等・事業者・他地域・産業支援機関】

地域横断的な連携を強化

- 横断的な連携における情報収集及び共有の場づくり
- 相談や情報提供に応える連携体制の構築

地域を越えたネットワークによる事業展開

- 地域を越えた企業とのマッチングによる事例創出
- 研究機関等の紹介・斡旋

方針4 CNFの事業化推進 ～CNFで儲ける～

CNFに関する技術とビジネスを一体的に支援するべく、資金調達・確保や販路開拓、ビジネスモデルの構築等による、CNFで**儲ける**ための活動を支援します。

◆4-1 産学金官による連携活動の促進【国、県・大学等・事業者・産業支援機関】

国・県等の事業化支援メニューの活用

- 製品化に活用可能な支援メニューの情報収集・提供

金融機関との連携強化

- 地元金融機関との情報交換・共有の場の設置

◆4-2 ビジネスモデルの構築【県・事業者・産業支援機関・他地域】

販路開拓の支援

- 展示会や見本市等への出展の支援
- 富士市発製品の積極的なPR

ビジネス化の支援

- CNF製品のB to Cに至るマッチング
- 商品販売までのモデルの創出

地域資源の活用

- 森林資源の有効活用によるCNF製品の検討

方針5 CNFのまちブランド育成 ～CNFのまちをプロモーション～

ふじに来ると求めるモノ・コトがある。CNFに取り組むにあたり適した場所として、企業・人材・情報・技術等が交差するまちとなるべく、市内外に広く発信する**プロモーション**活動を展開します。

◆5-1 CNFのまちシティプロモーションの強化【県・大学等】

CNF関連産業創出に向けたパッケージ展開の発信

- 「CNFの先進都市である富士市」、「持続可能な社会を創る富士市」をPR
- CNFに取り組む上で最適な場所である認知度の向上

◆5-2 ふじに集まる仕組みづくり【県・大学等・事業者・他地域】

CNFに関する求心力機能の強化

- 拠点を中心にした企業、人材、情報、技術が交差する場づくり
- CNF関連産業集積のための支援（CNF関連企業や研究施設等の誘致促進等）

2 施策の展開スケジュール



※施策の展開スケジュールは、社会経済情勢やCNFを含めた産業動向等に变化が生じた際は、必要に応じて見直しを行います。
 ※中・長期的なアクションプランは、推進構想の進捗状況や中間検証等を踏まえ展開していきます。

3 短期的なアクションプラン

推進構想は、2030年までの長期に渡るものですが、CNF関連産業の集積にあたっての課題等を踏まえ、喫緊に展開すべき取組をアクションプランとして定めます。アクションプランは、施策の展開スケジュールの短期（2019年～2021年）の3年間とし、取組の内容を明確化します。

アクション1

積極的な広報・PRによるCNFの情報発信・普及啓発

CNFの取組を推進する意義、CNFの特性・用途・活用法やCNFを活用する利点や効果を周知し、CNFを使う人（事業者）にとって「わかりやすい情報、必要な情報」、「提供可能なサンプルの具体的な紹介や問合せ先」等、CNFに特化した専門的な情報を提供する取組を展開します。

● CNF普及啓発パンフレット・冊子の作成と配布

CNFの基本情報、本推進構想や富士市の取組、市内外の企業の取組を特集した普及啓発パンフレット・冊子を作成し、配布します。

● CNF普及啓発講座の実施

CNFが素材として活用されるまでには、長期的な目線での取組が必要となり、そのためにはCNFを幅広い世代に認知してもらい、将来にわたる地域産業に携わる人材を育むことが重要であることから、CNFの普及に資するCNF出前講座を実施します。

● CNF専門ウェブサイトの開設

CNFに特化した専門的な情報、企業の取組、他地域のセミナー先進事例の紹介等、CNFに関する最新の情報を提供する専門ウェブサイトを開設します。

● 効果的なセミナーの開催

CNFの認知度・取組ステージに応じたセミナーやCNFの特性・用途等を理解し、出口（実用化・製品化）に結びつくセミナーを開催します。

アクション2

用途開発を加速化するマッチング機会の創出

用途開発を加速化するために、活用テーマを絞った研究会の開催やマッチング等の仕組み、取組を展開します。

● CNF活用の分野・技術等に応じた研究会の開催

CNFの応用が見込まれ、本市の産業と関連のある紙・紙加工、樹脂コンポジット、化粧品、食品等の出口テーマを明確にし、関連企業が集う機会を創出します。

● 出口創出に向けたシーズ・ニーズの効果的なマッチング会の開催

CNFに関するシーズ企業とユーザー企業との実用化・製品化を加速するための個別、分野別等における効果的なマッチング会を開催します。

「(仮称) 富士市CNFプラットフォーム」の設立・運用

地域産業の振興及びCNF関連産業の創出に向けて、情報収集、製品や技術紹介、協業可能な企業や研究機関等のマッチング等、連携の機会となる「オープンプラットフォーム（共創の場）」を設立します。

このプラットフォームでは、施策に位置付けられた各種事業やアクションプラン等を実施し、企業等の連携によるオープンイノベーションを加速し、本市の産業創出・振興に資する取組を展開します。

(仮称)富士市CNFプラットフォームコンセプト(事務局：富士市)

- ◆ 会員制度を設けたプラットフォームを構築
- ◆ 会員は、富士市の事業趣旨に賛同した国内の企業・大学等・研究機関・産業支援機関・行政などで構成
- ◆ 企業の取組ステージに応じたきめ細かい事業展開
- ◆ シーズとニーズをつなぐ機会を創出
- ◆ 分野や技術等のテーマ別コミュニティを組成し、オープンイノベーション・実用化を加速

市内外の企業等

CNFを用いて製品開発をしたい
 CNFの情報を知りたい
 CNFの共同研究相手を探している
 CNFの事業を推進したい
 CNF関連のネットワークをつくりたい

プラットフォームへの
賛同・参画

CNFを「知る」を強化
CNF知識の普及啓発

オープンプラットフォーム(共創の場)

企業・大学等・推進組織・行政等が幅広く参画

学びの場

最新情報の提供、セミナーの開催、理解度に応じた効果的な情報発信など

集いの場

取組状況に応じたサポート(紹介・斡旋)、テーマ別コミュニティの組成など

つながる場

シーズ・ニーズのマッチング会、共同実施の関係性の構築など

実施の場

共同研究、実用化・製品化研究

広域ネットワーク体制の構築

全国の公設試験機関や大学、CNF実用化に取り組む自治体や推進組織等と地域を越えた広域的なネットワークを構築

情報収集・共有、企業等のマッチング、共同研究・製品開発に係る紹介・斡旋、販路開拓等ビジネス化支援など